

# 11月4日(金)の防災訓練に参加しよう!

## 津波防災の日

## 学校や地域で行われる訓練に参加しましょう!



11月5日は  
世界津波の日

2015年12月の閣議決定により決定されました

### 津波防災ひろめ隊のホームページ

「津波防災ひろめ隊」は、「くまモン」や「ふなっしー」などを中心に、津波から身を守ることをもっと知ってもらうために活動中

今年は11月5日が土曜日となるため、地震や津波から身を守るための訓練は、11月4日(金)に日本全国で行われます。みなさんも学校や地域で行われる訓練に参加しましょう。

安政元年(1854年)11月5日、安政南海地震と呼ばれる大地震が発生し、大きな津波が和歌山県をおそいました。この時、浜口梧陵という人物は、暗やみの中で逃げ遅れている人に気づき、安全な高台へと「ひなん」させるために、かりとった稲やわらを積んだ「稲むら」に火をつけることで、津波から多くの村人の命を救いました。村人の命を救うためとはいえ、1年間の大切な収穫である「稲むら」を全て燃やしてしまうというのは、とても勇気のいる行動です。何よりも命が大切ということを教えてくれるこの話は「稲むらの火」という物語となっており、今も語りつがれています。



2016年	10月5日	水曜日
平成28年		
福岡管区气象台	〒810-0052	
防災調査課	福岡市中央区大濠 1-2-36	
電話	092-725-3614 (記事) 092-725-3600 (天気相談所)	
メール	fk-kanku@met.kishou.go.jp (ご意見・ご要望はこちらまで)	

### 「お天気 Q&A」

Q:「津波」という言葉はどのようにしてできたのですか。

A:津波の「津」は「船がつかれている所」「港」などの意味があって、港をおそう波で「津波」となったようです。



また、世界でも「Tsunami」(ツナミ)が使われています。これは、1946年に日本から遠くはなれた北の国でおきた地震により津波がおこり、ハワイで津波を見た日本から移り住んだ方が、ツナミという言葉を使っていたのが、広まって世界でも共通語となったとのことです。

### 気象情報へのアクセス

津波防災の日	
津波防災ひろめ隊	検索
アニメ「津波からにげる」	
津波からにげる	検索

### 大きな地震が海でおこると、どうして津波がおこるの?

### 津波がおこるしくみ



- 地震により津波がおこるしくみ
- 地震により、海の底が動く
  - その上の海水が押し上げられて津波がおきる
  - 海の底から上の水が、かたまりとなりやってくる
  - 海岸に近くづくにつれて津波は大きくなる

海の中で大きな地震があったときには、津波がおこることがあります(しくみは右の図)。  
津波の速さは、海の深い所ではジェット機ぐらいで、浅くなる海岸近くでは遅くなります。遅くなったときでも、その速さはオリンピック選手並みの速さ(100メートルを10秒くらい)なので、海で津波を見てからにげては間に合いません。  
地震の強いゆれを感じたときや、津波警報を聞いたとき、高台やビルの上などへ早く、高い所に逃げまわってください。

### 大切なこと



- 地震が発生した時、どうしますか
- 地震のゆれを感じたら、すぐに身を守る(机の下にかくれる)
  - ゆれが続いている間は身をまもり続ける
  - 落ち着いて身のまわりに危険がないかを確認(あわてて外にとびださない)
  - ゆれが大きかったときや、ゆれが小さくても津波警報がでたときは、すぐに「ひなん」
  - 津波からの「ひなん」は、できるだけ高いところへ。海や川に近づかない
  - 津波は、くり返しおそってくるので、津波警報がでている間は「ひなん」を続ける

### アニメ「津波からにげる」を見よう

「平成23年に東北地方でおこった大きな津波では、街が大きな津波におそわれたのに、岩手県釜石市の鶴住居という地区の小学校や中学校の多くの子どもたちが助かりました。どうして子どもたちは津波から逃げることができたのでしょうか。」この映像は、その時の行動をアニメにしたものです。映像はインターネットで、「津波からにげる」でさがすことができます。



津波からにげている様子